

Actian DataExchange 16

スターターガイド



株式会社エージーテック

2026年2月20日

Copyright © 2026 AG-TECH Corp. All rights reserved.

免責事項

株式会社エージテックは本書の使用を、利用者またはその会社に対して「現状のまま」でのみ許諾するものです。株式会社エージテックは、いかなる場合にも本書に記載された内容に関するその他の一切の保証を、明示的にも黙示的にも行いません。本書の内容は予告なく変更される場合があります。

商標

Copyright © 2026 AG-TECH Corp. All rights reserved. 本書の全文、一部に関わりなく複製、複写、配布をすることは、前もって発行者の書面による同意がない限り禁止します。すべての Pervasive ブランド名および製品名は、Pervasive Software Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。また、すべての Actian のブランド名は、Actian Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Actian DataExchange v16 スターターガイド

最終更新：2026 年 2 月 20 日

目次

1. はじめに.....	1
2. DataExchange の概要.....	2
3. レプリケーション設定の概要.....	3
4. ウィザードを使用したレプリケーションの設定.....	4
4-1. 第1サイトインストール.....	4
4-2. 第1サイトでの設定.....	8
4-3. パートナーサイト インストール.....	15
4-4. パートナーサイトでの設定.....	19
5. ウィザード終了後の確認.....	22
6. スケジュールの設定.....	23
6-1. ログオン名とパスワードの設定.....	23
6-2. スケジュールの追加.....	24
6-3. スケジュールを開始.....	25
6-4. ダイアログを閉じる.....	25
7. レプリケーション動作の確認.....	26
7-1. 進行状況およびログ ビューアーの起動.....	26
7-2. 進行状況ビューアーとログビューアーを確認.....	27
7-3. レプリケーションの中止.....	29
8. 設定したレプリケーションのクリア.....	30
8-1. レプリケーションを停止する.....	30
8-2. スケジュールを削除する.....	30
8-3. DSN の確認.....	31
8-4. データベースの非アクティブ化.....	32
8-5. 非アクティブ化後の確認.....	33
8-6. 第1サイトで Template Remover を実行.....	36
8-7. パートナーサイトで管理用データベースの削除.....	41
9. 設定したレプリケーションの変更.....	43
10. Zen 関連のサービス開始・停止手順.....	43
10-1. サービスの開始.....	43
10-2. サービスの停止.....	43

1. はじめに

本書では、初めて DataExchange をご使用になるお客様に向け、最も簡単で安全な操作手順をご案内いたします。

本書の内容は一方方向のバックアップおよび双方向の同期に対応しており、初期設定からバックアップ／同期の実行、確認作業まで、順を追って説明しております。

また、操作時の注意点やトラブルシューティングのヒントも併せて掲載しておりますので、安心してご利用いただけます。

2. DataExchange の概要

DataExchange は、Actian Zen のデータをリアルタイムでバックアップ（一方向(リアルタイムバックアップ)）または、複数のマシンでデータの同期（双方向(データ同期)）を行うことを目的としたツールです。

本ツールではレプリケーションの設定を行うサーバーを**第1サイト**と呼び、他のサーバーを**パートナーサイト**と呼びます。

一方向では、第1サイトで業務を行い、第1サイトのデータはリアルタイムでパートナーサイトにバックアップされます。第1サイトで障害が発生した場合でも、パートナーサイト上で一時的に業務を続けることができるため、業務停止の時間を最小限に抑えることが可能です。ただし、第1サイトの復旧状況によっては、元の環境を再構築するのに時間がかかる場合があります。

双方向では、複数のマシンで設定を行った順にデータの同期が行われます。連続的にレプリケーションを行うように設定した場合でも、レプリケーション開始時のデータは同期されますが、レプリケーション処理を行っているときに削除・変更・追加されたデータは、進行中のレプリケーション処理が終了し、次のレプリケーション処理が開始された後に同期されます。この間に数十秒のタイムラグがあり、同じレコードをレプリケーション処理の間に更新した場合、後から更新したデータが優先されるため、在庫の引き当てに使用するようなファイルは、双方向のレプリケーションでは注意が必要です。

3. レプリケーション設定の概要

レプリケーションの設定は、まず第1サイトでレプリケーション対象となるファイルを指定し、次にパートナーサイトでその設定を読み込むことで行います。

これにより、第1サイトのデータを安全にバックアップし、万が一の障害時にもパートナーサイトで業務を継続できるようになります。

レプリケーション設定には、目的や対象ファイルに応じていくつかのツールが用意されています。

- **ウィザード(Deployment Tool)および dxdeploy.exe**
Btrieve ファイル単位でレプリケーションを設定できます。また、データベースとして登録されているデータもこれらのツールで設定可能です。
この場合、辞書ファイル (*.DDF) も併せてレプリケーション対象に追加されます。

最も簡単に設定できるのは、ウィザード(Deployment Tool)を使用する方法です。

ウィザードを使用すれば、いくつかの項目を選択するだけでレプリケーションの設定が完了し、初心者でも手軽に設定できます。

実際のレプリケーションの動作は、**Manager** を使用してスケジュールを設定することで定期的に自動実行されます。

これにより、手作業で更新する手間を省き、常に最新のデータをパートナーサイトに保管できます。

注意:

- Actian DataExchange v16 は、Windows 64 ビット環境でのみ動作します。32 ビット Windows や Linux では使用できません。
- DataExchange は、Enterprise Server あるいは Cloud Server がある場合のみインストールが可能です。「Workgroup」環境ではインストールできません。
- マシン名は必ずユニークなものにしてください。そうしないとパートナーウィザードは実行中にエラーが発生し、配置失敗になります。

4. ウィザードを使用したレプリケーションの設定

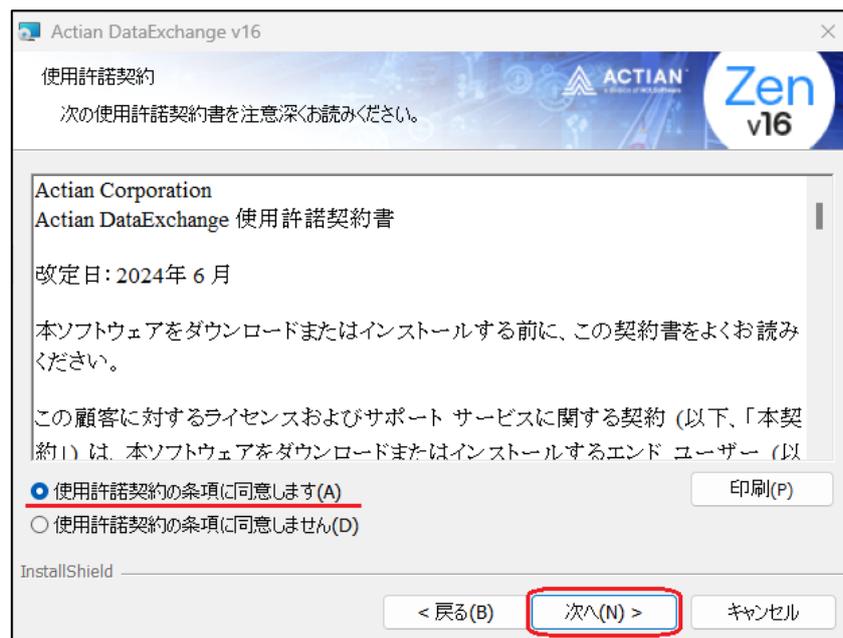
4-1. 第1サイトインストール

InstallShield ウィザードを開いて、インストーラーが起動したら、[次へ(N)>] をクリックします。

(※ 以下の画面参照)



「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選択して [次へ(N)>] をクリックします。



次に「サイトの種類」で第1サイトを選択して [次へ(N)>] をクリックします。



ここで、次の注意事項が表示されます。内容を確認した後、[はい(Y)] をクリックします。



注意事項を閉じたあと、改めて「サイトの種類」ページの [次へ(N)>] をクリックします。

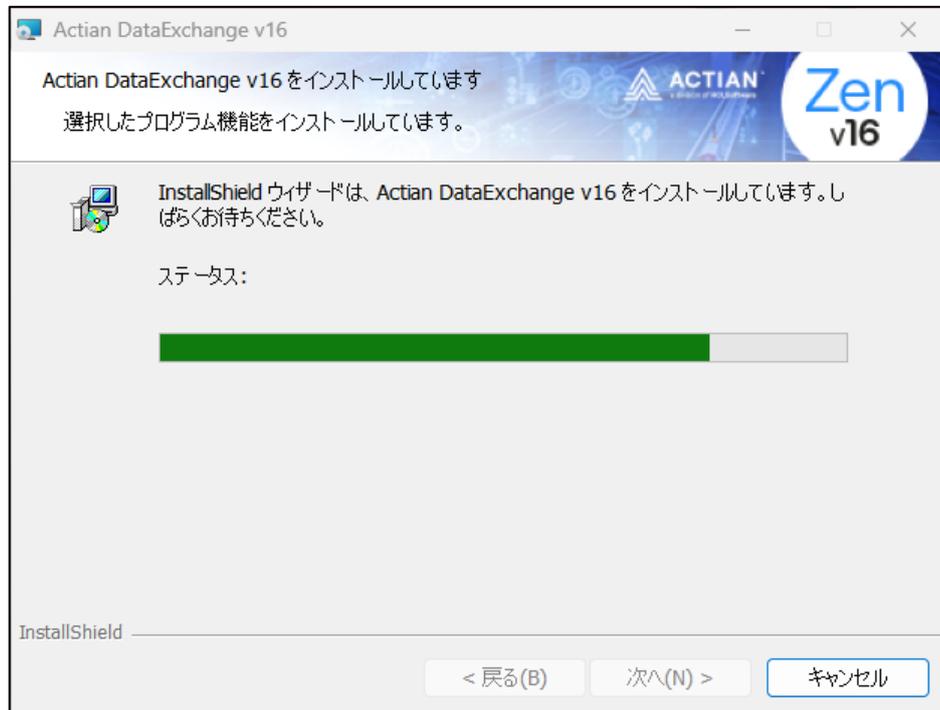
次の「サイト情報」ページで、「サイト名」と「ホスト名または IP アドレス」の値を確認して [次へ(N)>] をクリックします。



[インストール(I)] をクリックして、インストールを開始します。



インストールが完了するまでそのままお待ちください。インストール中は次の画面が表示されます。



ウィザードの最終画面で「正常にインストールしました。」というメッセージが表示されたら、DataExchange のインストールは完了です。[完了(F)] ボタンをクリックしてウィザードを閉じます。



4-2. 第1サイトでの設定

- a. Windows スタートメニューから [すべて>] → [Actian DataExchange 16] → [DX Deployment Wizard] の順にクリックし、「管理者として実行」でウィザードを起動します。

注意: Wizardは「管理者として実行」しないと失敗することがありますので、管理者として実行してください。

起動したら [次へ>] をクリックします。



- b. 「第1サイト」が選択されていることを確認し、[次へ>] をクリックします。



- c. プロジェクト名、ネットワーク名に任意の名前を設定し、[次へ>] をクリックします。

DX Deployment Wizard - 第1サイト

レプリケーションプロジェクトの定義
DataExchange レプリケーションプロジェクトをどのように定義しますか?

✓ 関係しているデータベースを思い出せるようなプロジェクト名を入力してください。
demo

✓ この配置に関わっているレプリケーションサイトのグループを表すネットワーク名を入力してください。
demo

✓ リリース名を入力してください。たとえば、最初のデザインならば 1.0 とします。
1.0

<戻る 次へ> キャンセル

- d. 次のいずれかを選択し、[次へ>] をクリックします。

- 「一方向(リアルタイムバックアップ)」

第1サイトからパートナーサイトにバックアップを行うケースで選択します。

- 「双方向(データ同期)」

第1サイト、パートナーサイト双方で変更したデータを同期するケースで選択します。

※第1サイトとパートナーサイトで同じレコードをほぼ同時(次のレプリケーションまでの間)に変更した場合、後から変更したデータが優先され、先に変更したデータは破棄されます。

DX Deployment Wizard - 第1サイト

DataExchange レプリケーション方法の選択
どのレプリケーション方法を使用しますか?

選択する方法は、データベース、ネットワークトポロジ、およびビジネス要件によって変わります。一方向は通常、バックアップのシナリオで使用され、双方向はほとんどの場合、データの同期に使用されます。

使用するレプリケーション方法を選択してください。

一方向(リアルタイムバックアップ)

双方向(データの同期)

<戻る 次へ> キャンセル

- e. DataExchange が管理用に使用するデータベースの名前を入力し、[次へ>] をクリックします。

ここで入力したデータベースはお客様のデータが入っている既存のデータベースではありません。

DataExchange がレプリケーションの管理のために使用しますので、このデータベースは操作してはいけません。



- f. [追加] をクリックし、データレプリケーションを行う Btrieve ファイル (.MKD のデータファイル) を設定します。



- g. データファイルを追加したら、[次へ>] をクリックします。



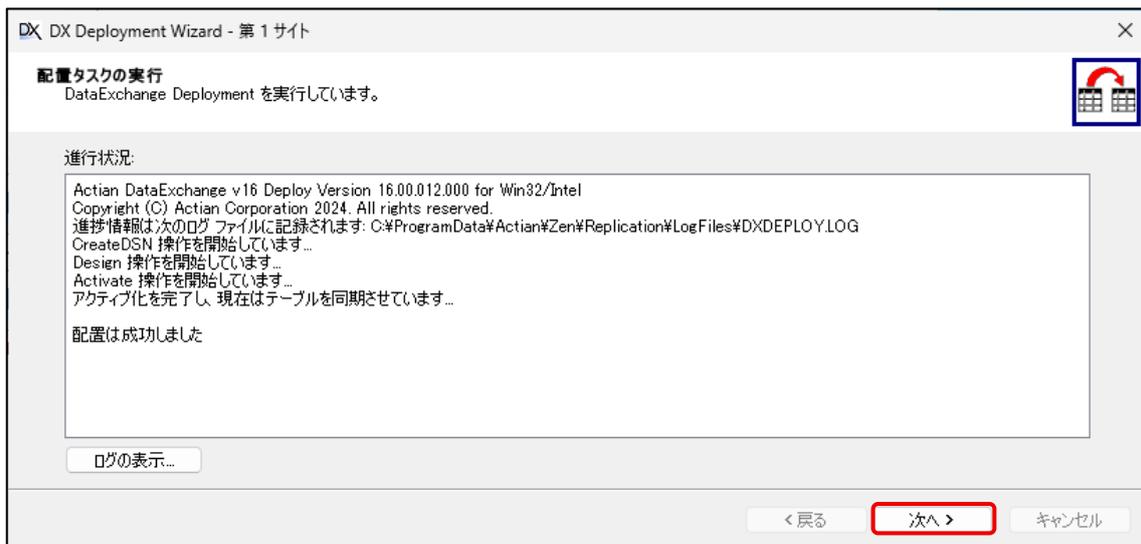
- h. 「いいえ、後日スケジュールを作成します。」を選択し、[次へ>] をクリックします。
ここでスケジュールを設定することも可能ですが、本書ではレプリケーション設定後にスケジュールを設定します。



- i. 設定内容を確認し [次へ>] をクリックします。



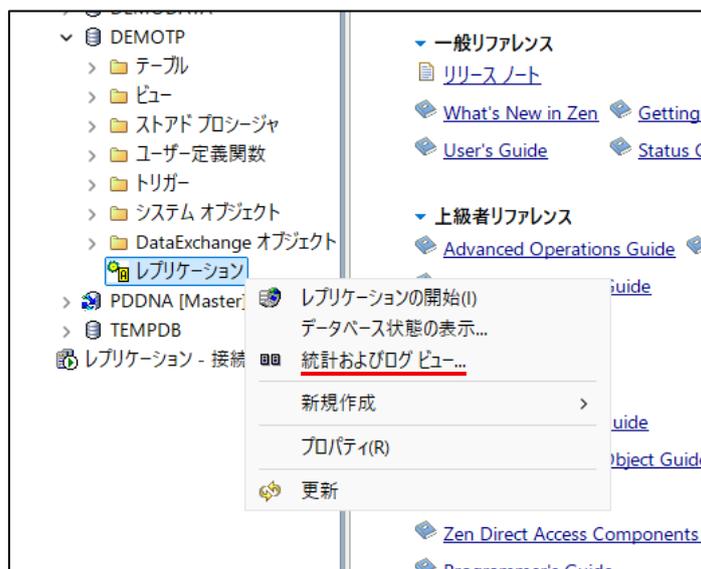
- j. 「配置は成功しました」と表示されれば、第1サイトでのウィザードは終了です。
[次へ>] をクリックします。



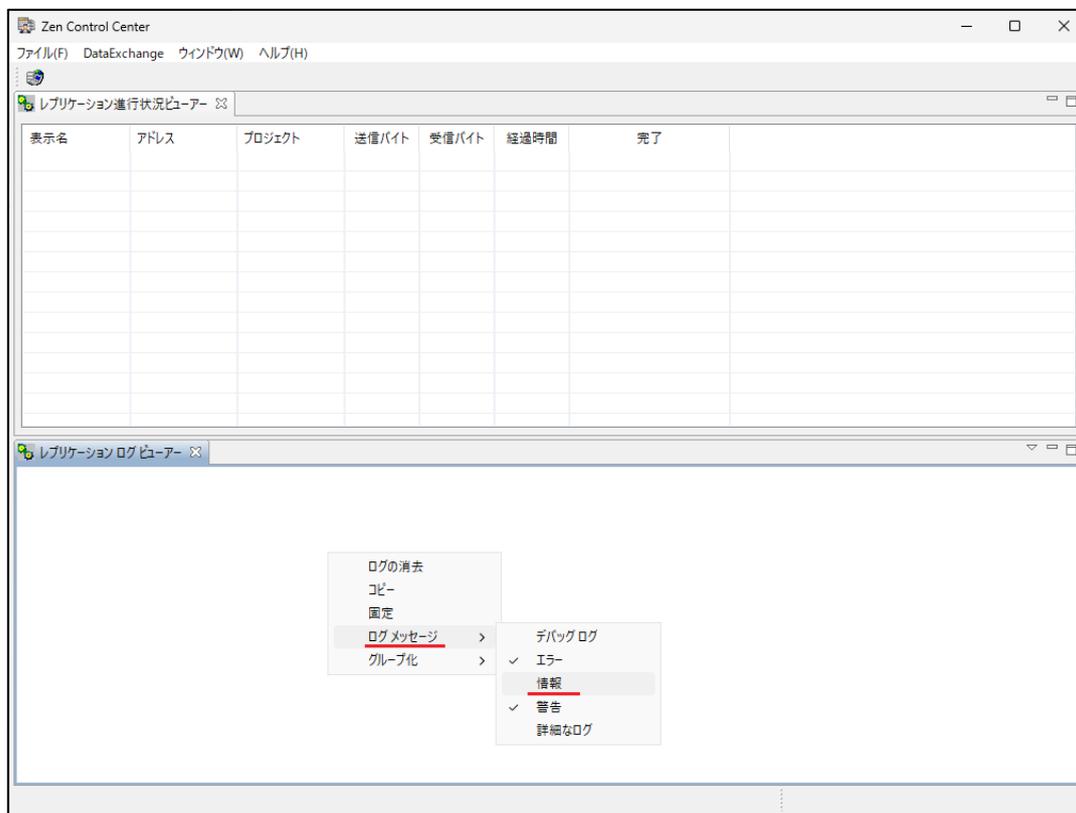
- k. 概要の「場所:」で示されている C:\Program Files (x86)\Actian\Zen\Replication\projects にある<プロジェクト名>.dxb ファイル をパートナーサイトから参照可能となるように共有を設定しておきます。



1. 「完了」をクリックし、ウィザードを終了します。
- m. Zen Control Center を起動します。左ペインで管理用 DSN を展開し、「レプリケーション」を右クリックして表示されるメニューから「統計およびログビュー…」を選択します。



- n. ビューアーのウィンドウが開いたら、下部の「レプリケーションログビューアー」エリア内を右クリックして、ポップアップするメニューから「ログ メッセージ」→「情報」を選択します。



- o. 初期レプリケーションの結果を確認するため、このビューアー ウィンドウを閉じないでください。初期同期処理が終了しているかどうかの判定方法については、次項「[5. ユーザー終了後の確認](#)」を参照してください。

4-3. パートナーサイト インストール

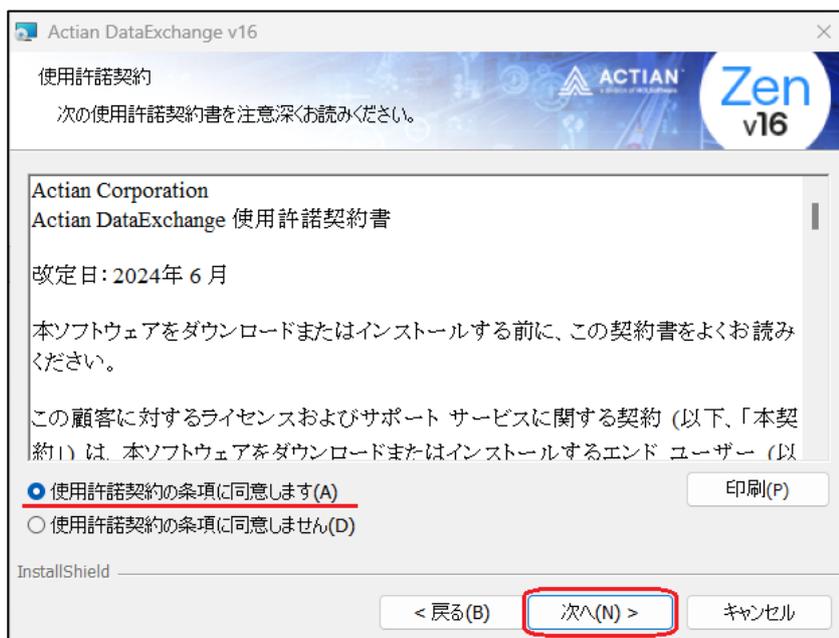
パートナーサイトのインストール手順は、第1サイトとほぼ同一です。

InstallShield ウィザードを開いて、インストーラーが起動したら、「次へ(N)>」をクリックします。

(※ 以下の画面参照)



「使用許諾契約の条項に同意します(A)」を選択して「次へ(N)>」をクリックします。



次に「サイトの種類」でパートナーサイトを選択して「次へ(N)>」をクリックします。



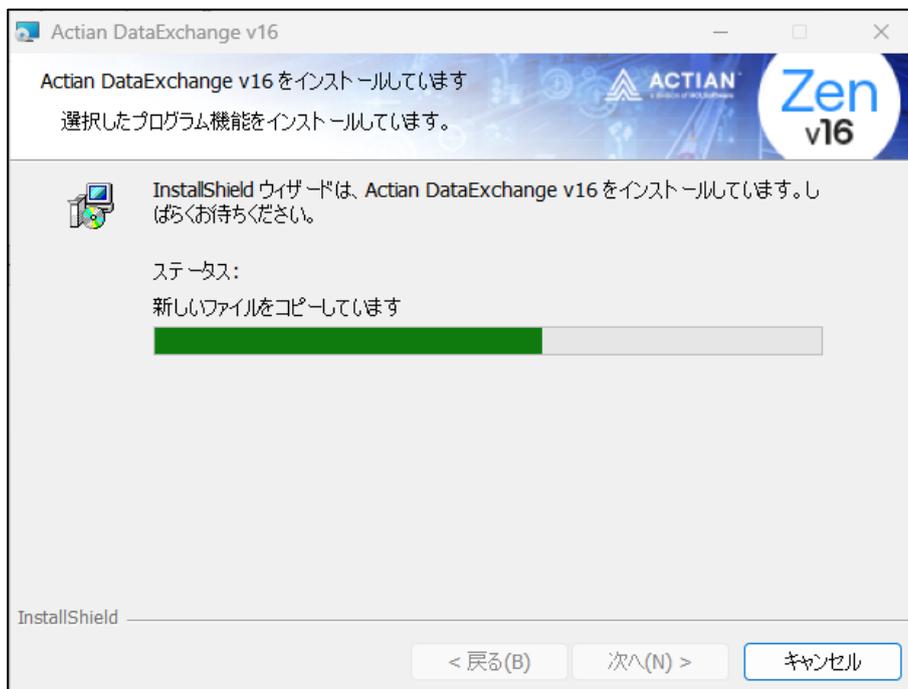
次の「サイト情報」ページで、「サイト名」と「ホスト名または IP アドレス」の値を確認し、問題がなければ「次へ(N)>」をクリックします。



[インストール(I)] をクリックして、インストールを開始します。



インストールが完了するまでそのままお待ちください。インストール中は次の画面が表示されます。



ウィザード最終画面で「正常にインストールしました。」というメッセージが表示されたら、DataExchange のインストールは完了です。[完了(F)] ボタンをクリックしてウィザードを閉じます。

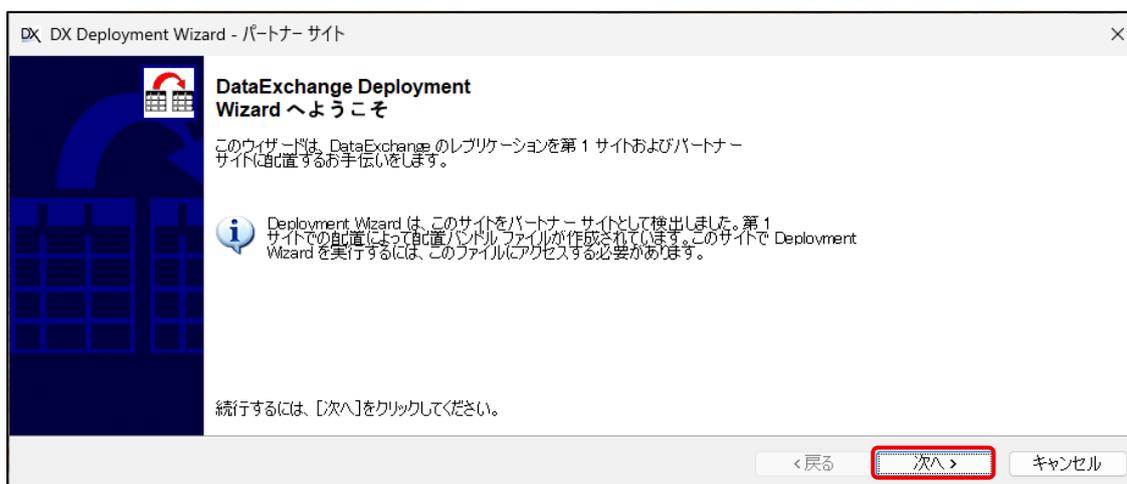


4-4. パートナーサイトでの設定

- a. Windows スタートメニューから [すべて>] → [Actian DataExchange 16] → [DX Deployment Wizard] の順にクリックし、「管理者として実行」でウィザードを起動します。

注意: Wizard は「管理者として実行」しないと失敗することがありますので、管理者として実行してください。

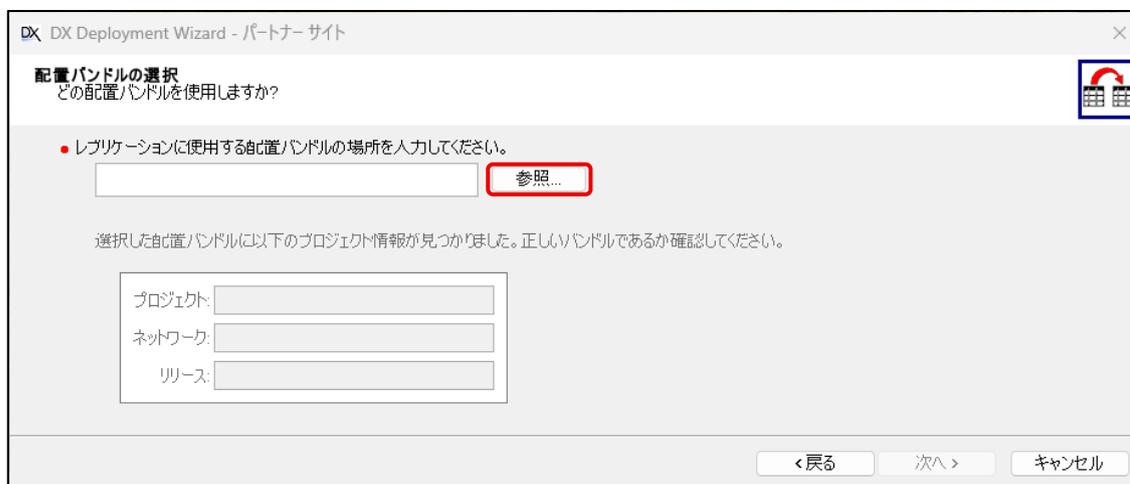
起動したら [次へ>] をクリックします。



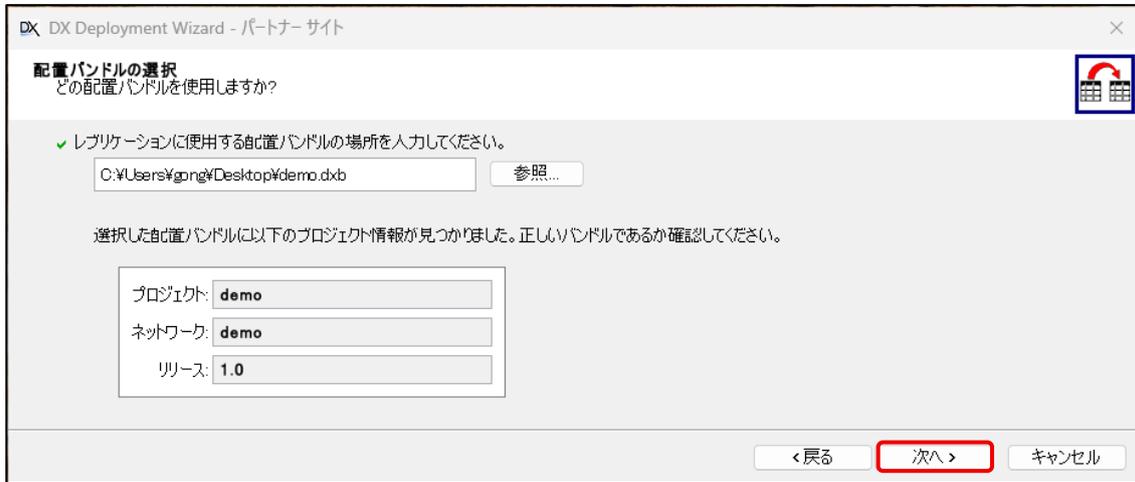
- b. 「レプリケーションに使用する配置バンドルの場所を入力してください。」フィールドには、第 1 サイトのウィザード完了時の「場所:」に表示された<プロジェクト名>.dxb ファイル(4-2 の手順 k 参照)を指定します。

パートナーサイトのウィザードで<プロジェクト名>.dxb ファイルを参照する前に、
エクスプローラーでローカルにコピーしておくことをお勧めします。

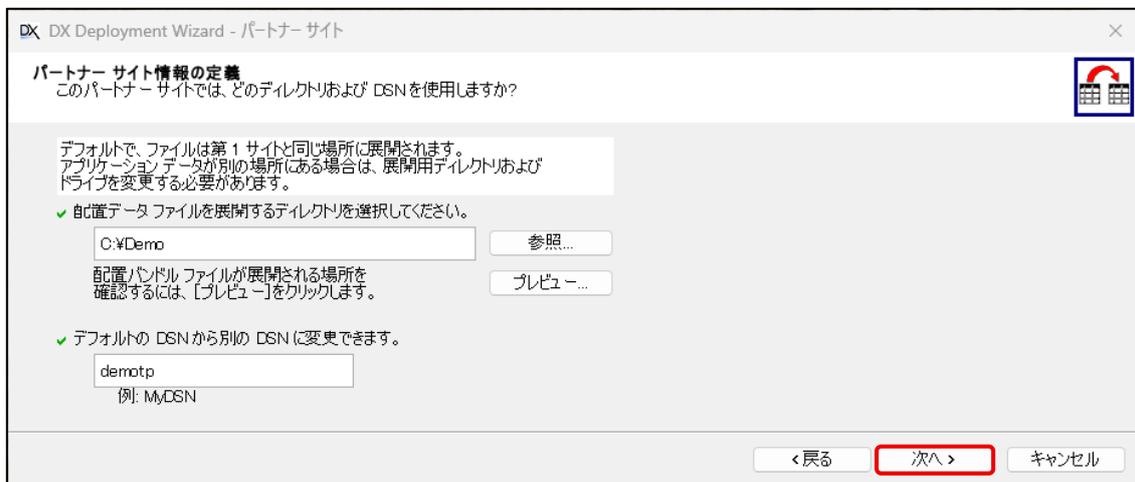
[参照] をクリックすると、ファイルを開くダイアログが表示されます。



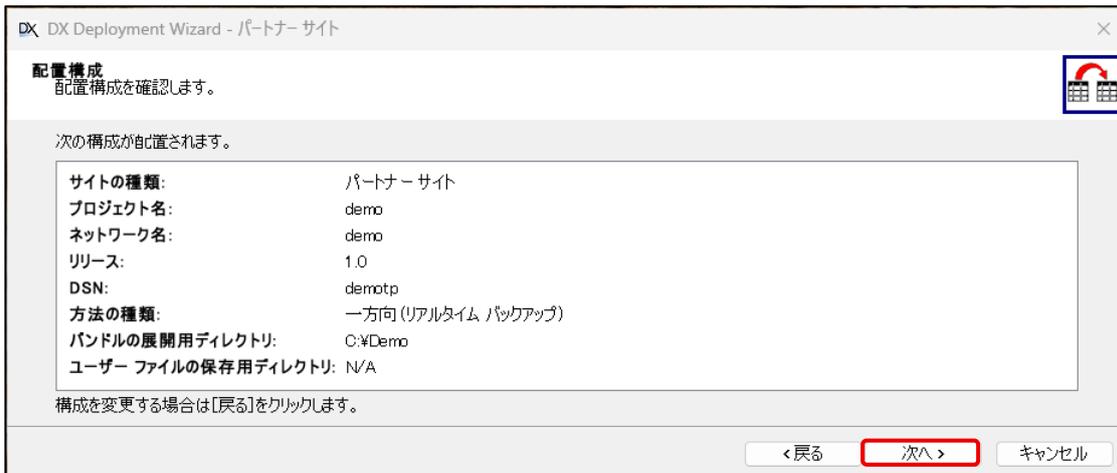
- c. ファイルを選択すると、第1サイトで設定したプロジェクト名、ネットワーク名、リリースが表示されます。確認後、[次へ>] をクリックします。



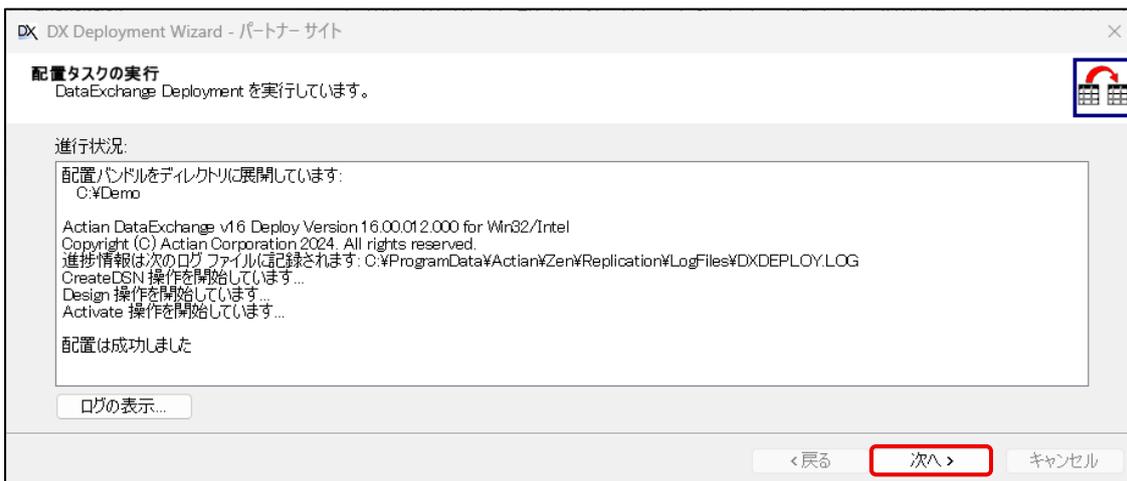
- d. ファイルの主なコピー先、レプリケーション管理用の DSN を確認します。
デフォルトで表示される第1サイトと同じものを使用してください。
[次へ>] をクリックします。



- e. 第 1 サイトで設定した内容を確認し、[次へ>] をクリックします。



- f. 「配置は成功しました」と表示されれば、パートナーサイトでのウィザードは終了です。
[次へ>] をクリックします。



- g. [完了] をクリックしてウィザードを終了します。



5. ウィザード終了後の確認

ウィザードが終了した時点では、第1サイトとパートナーサイトでデータの初期同期が終了していません。

データの初期同期は、ウィザードとは非同期に行われます。

データの初期同期処理中であるかどうかは、[統計およびログビュー...] から開くビューアーウィンドウで確認します。

第1サイトの「レプリケーションログビューアー」にて、下図のようなログメッセージに「×××のレプリケーションは、0個の競合を解決して正常に終了しました。」が表示され、その後メッセージの追加がなくなれば、初期同期処理は終了しています。

The screenshot displays the Zen Control Center interface. The top window, 'レプリケーション進行状況ビューアー', contains a table with the following data:

表示名	アドレス	プロジェクト	送信バイト	受信バイト	経過時間	完了
demotp (SEVER...	SEVER-DXPAR...	demo	378983	5655	24	成功

The bottom window, 'レプリケーションログビューアー', shows a log of messages. A red box highlights the following message:

```

Information: 2026/01/15 15:50:32 - demotp (SEVER-DXPARTNER)(00LFLT) との demo (demo) -- demotp のレプリケーションは、0 個の競合を解決して正常に終了しました。

```

6. スケジュールの設定

スケジュールの設定は、**第1サイト**で Manager を使用して行います。

レプリケーション動作は、このスケジュールに基づき行われます。

スケジュールでは、何分間隔でレプリケーションの実行を行うかを設定しますが、0 分を設定すると、レプリケーションの終了後、直ちに次のレプリケーションが開始されます。

注意:必ず第1サイト内で実施してください。

6-1. ログオン名とパスワードの設定

Windows スタートメニューから [すべて>] → [Actian DataExchange 16] → [DX Manager] をクリックし、Manager を起動します。

または、

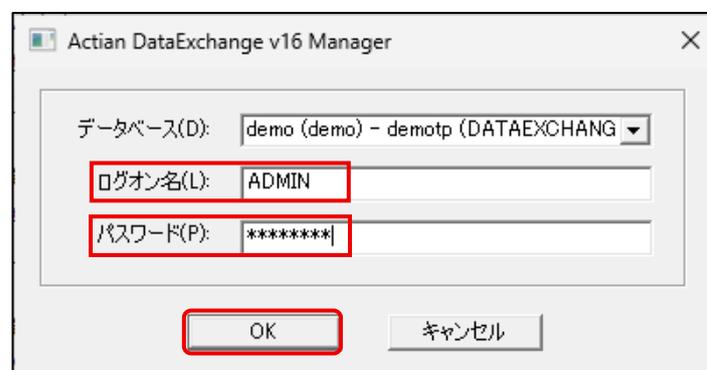
Zen Control Center トップメニューから [DataExchange] → [Manager(M)] を選択します。



ログオンダイアログが表示されるので、ログオン名に「ADMIN」を入力し、パスワードには「password」を入力します（デフォルトの設定です）。

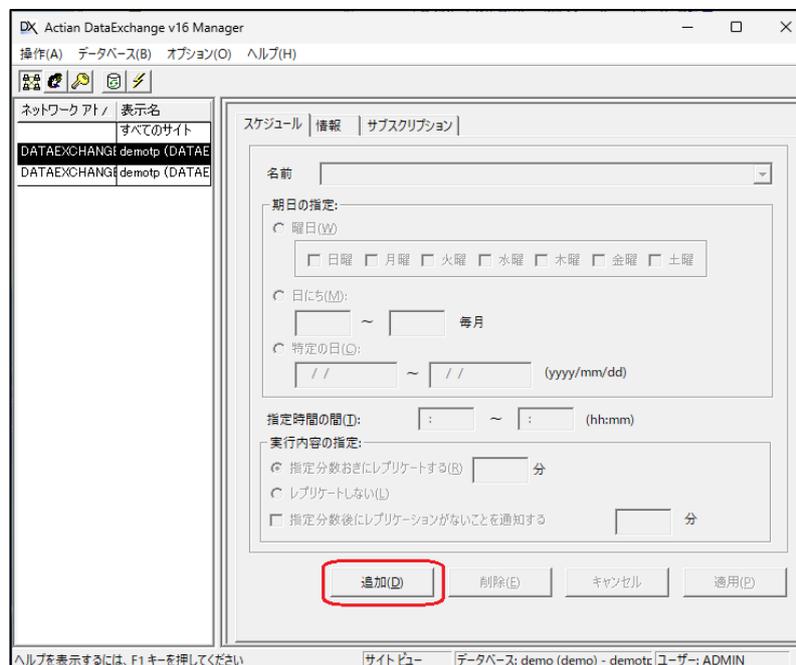
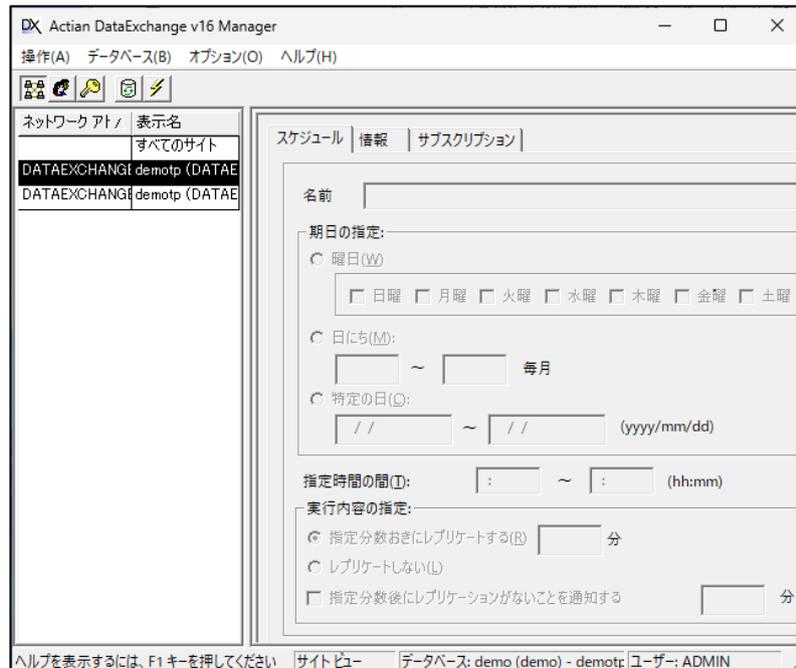
データベースには、スケジュールを設定したい設定（プロジェクト）を選択します。

ログオン名とパスワードの入力後、[OK] をクリックします。



6-2. スケジュールの追加

Manager ウィンドウで、ネットワークアドレスに**第1サイトのマシン名**、表示名に<DSN 名>が表示されている行を選択（クリック）した後、「追加(D)」をクリックします。



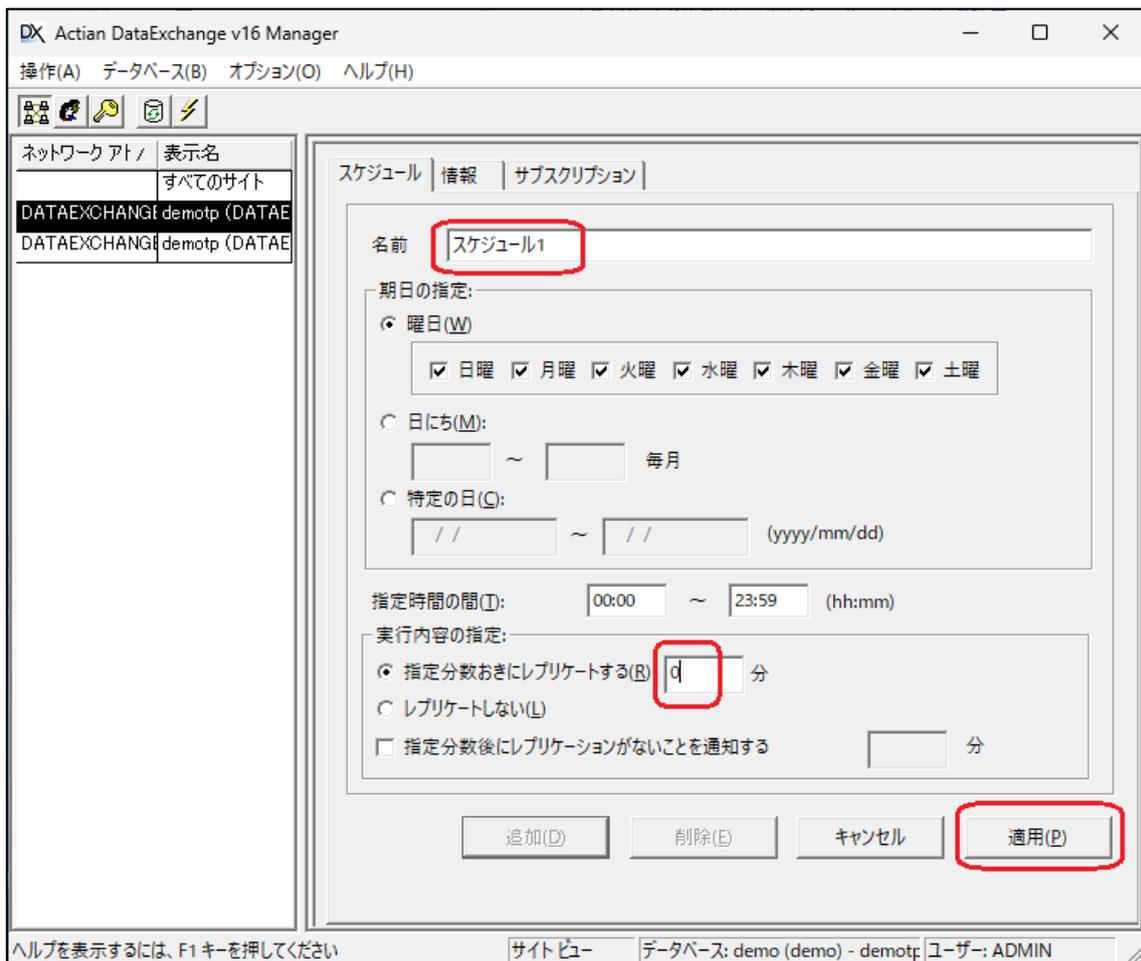
注意: ウィンドウを開いた際、下部の「追加(D)」や「適用(P)」ボタンが表示されないことがあります。その場合は、ウィンドウサイズを広げて表示してください。

6-3. スケジュールを開始

スケジュールの名前およびレプリケーション間隔（赤枠の項目）を設定し、[適用(P)] をクリックします。

レプリケーション間隔に 0 分を設定すると、レプリケーションの終了後、続いて次のレプリケーションが開始されます。

必要に応じて「期日の指定」、「指定時間の間」を設定してください。



6-4. ダイアログを閉じる

Manager ウィンドウを閉じます。

以上でレプリケーションの初期設定は完了です。

7. レプリケーション動作の確認

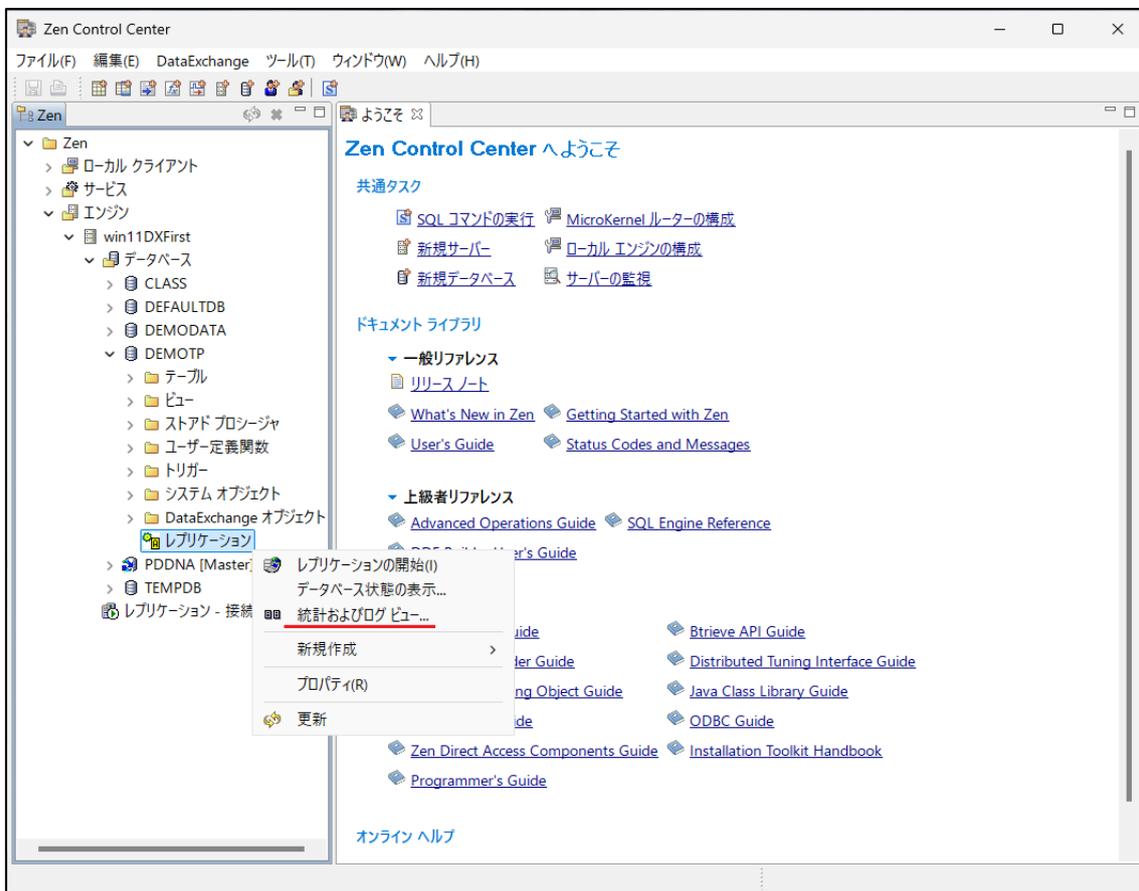
注意: 以下の確認作業は必ず**第1サイト**で実施してください。

7-1. 進行状況およびログ ビューアーの起動

レプリケーション動作の確認は、進行状況/ログ ビューアー ウィンドウを使用して確認します。

このウィンドウを開くには、まず Zen Control Center を起動します。

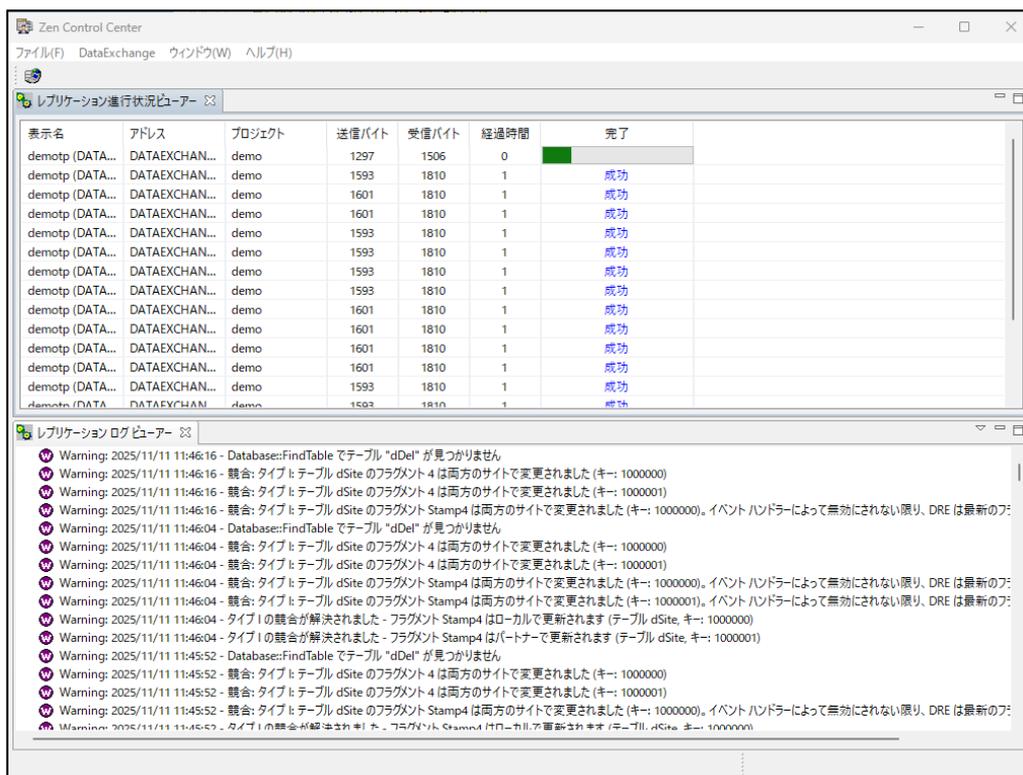
左ペインで管理用 DSN を展開し、「レプリケーション」を右クリックして表示されるメニューから「統計およびログビュー...」を選択します。



7-2. 進行状況ビューアーとログビューアーを確認

「レプリケーション進行状況ビューアー」の [完了] 列に「成功」または「失敗」と表示されます。

第1サイト、パートナーサイトの負荷等により、「失敗」と表示されることがありますが、連続で「失敗」にならないければ、通常問題ありません。



注意:

- このウィンドウは常時起動しないでください。
- レプリケーション処理中は、PC に高い負荷がかかる場合があります。その影響で、PC が一時的にフリーズしたり、このウィンドウや Zen Control Center が応答しなくなったりして、閉じられない場合があります。

補足:

- 動作が遅い場合、「レプリケーション進行状況ビューアー」に何も表示されないことがあります。その場合は、しばらく待ってから再確認してください。

The screenshot shows the Zen Control Center interface. The main window is titled 'レプリケーション進行状況ビューアー' and contains a table with the following data:

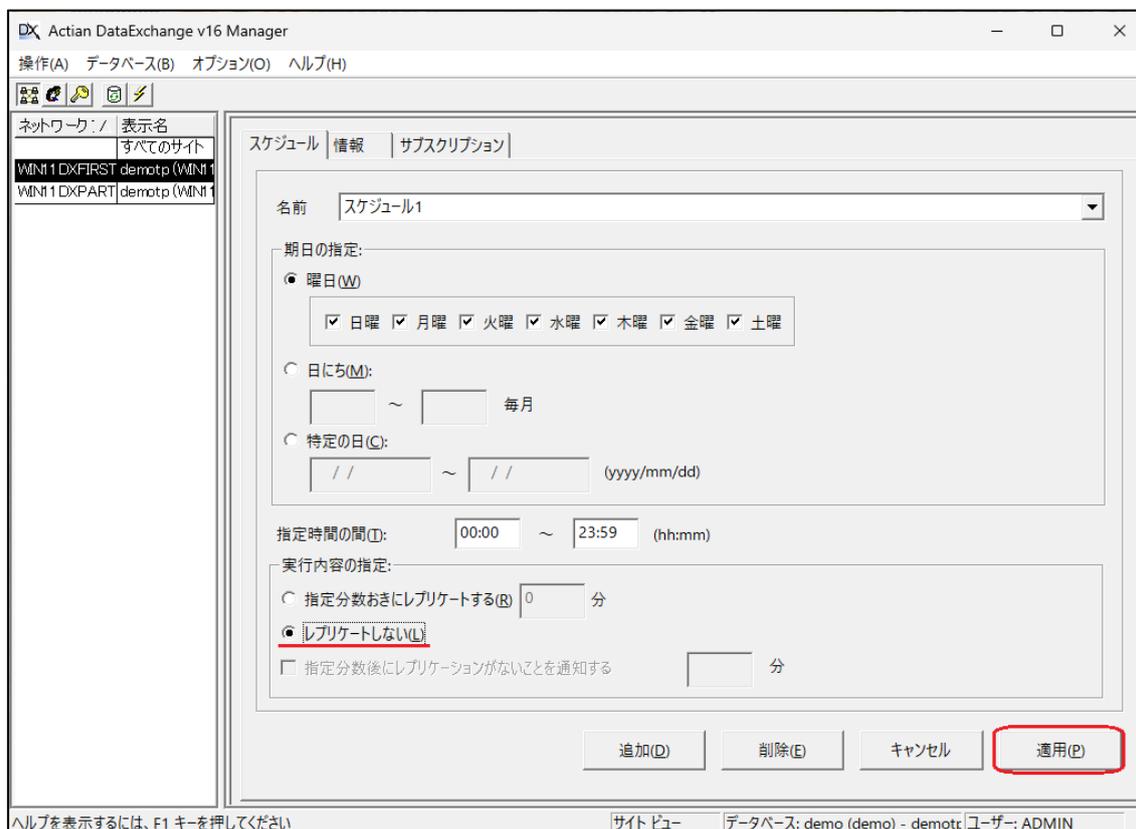
表示名	アドレス	プロジェクト	送信バイト	受信バイト	経過時間	完了
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	1854	1581	1	
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2250	2209	1	成功
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2250	2209	2	成功
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2250	2209	2	成功
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2250	2209	2	成功
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2274	2241	2	成功
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2282	2241	2	成功
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2250	2209	2	成功
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2250	2209	2	成功
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2274	2241	2	成功
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2250	2209	3	成功
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2282	2241	18	成功
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2274	2249	18	成功
demotp1 (DAT...	DATAEXCHAN...	demo1	2250	2209	11	成功

Below the table is a log window titled 'レプリケーションログビューアー' showing various audit messages such as 'Information: 2025/11/17 14:23:13 - キューに置かれたコマンドを処理しようとしています' and 'Information: 2025/11/17 14:23:13 - AUDIT dQueue: キューに置かれた 0 コマンドが 0 秒で処理されました'.

- [完了] 列が 100%に達しても処理が終了しない場合があります。
[完了] 列に「成功」と表示されるまで処理は継続中であり、100%表示のみでは終了したことにはなりません。

7-3. レプリケーションの中止

スケジュールを止める場合は、Manager で「レプリケートしない」を選択して [適用(P)] してください。



「レプリケーション進捗状況ビューアー」および「レプリケーションログビューアー」に新しい情報が出力されていなければ、レプリケーションは中止したと判断できます。

注意: レプリケーションは確実に中止しないと、「[8-4. データベースの非アクティブ化](#)」の非アクティブ化の実行が失敗します。

8. 設定したレプリケーションのクリア

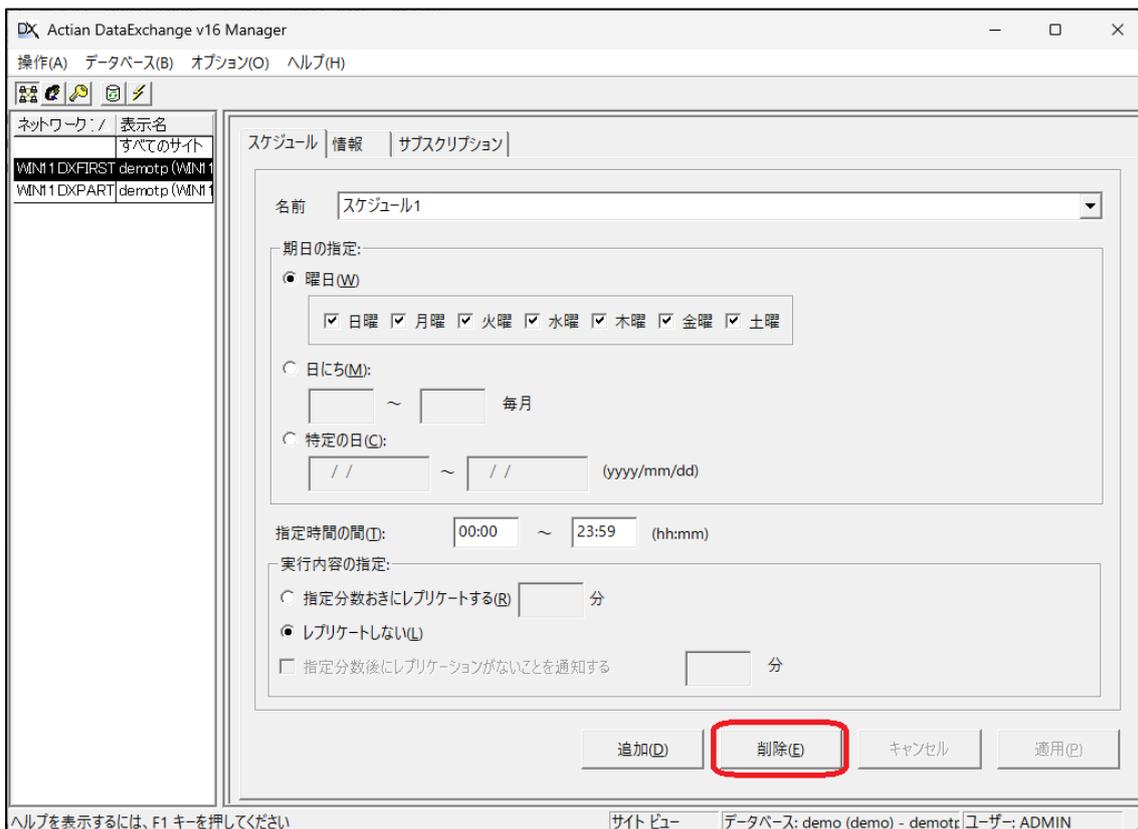
ウィザード (Deployment Tool) で設定したレプリケーションの設定クリアは、次の手順で行います。

8-1. レプリケーションを停止する

Manager で「レプリケートしない」を選択して [適用(P)] してください (具体的な方法は「7. レプリケーション動作の確認」の「[7-3 レプリケーションの中止](#)」を参考にしてください)。

8-2. スケジュールを削除する

Manager でスケジュールを設定している場合は、削除します。



注意: Manager にあるスケジュールを削除しないと、データベースの非アクティブ化時にエラーが発生し、非アクティブ化に失敗します。

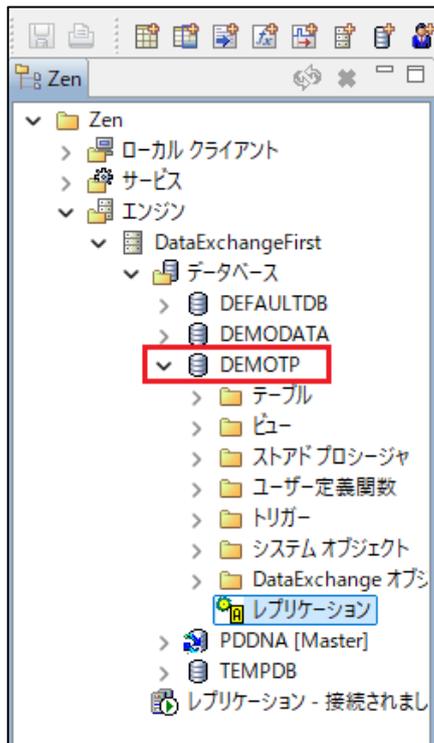
8-3. DSN の確認

本手順で使用する DSN は、ウィザード実行時に、「レプリケーションデータベースの DSN を入力してください」フィールドに入力した名前が定義されています。

この定義した DSN 名をそのまま使用してください。



指定した DSN 名のデータベースは、Zen Control Center の左ペインで展開される「データベース」の下に追加され、入力した DSN 名がデータベース名として扱われます (DSN 名 = データベース名)。



8-4. データベースの非アクティブ化

非アクティブ化とは、レプリケーションの設定を処理しない状態に戻すことです。

第1サイトと**パートナーサイト**でそれぞれ実行する必要があります。

第1サイト:

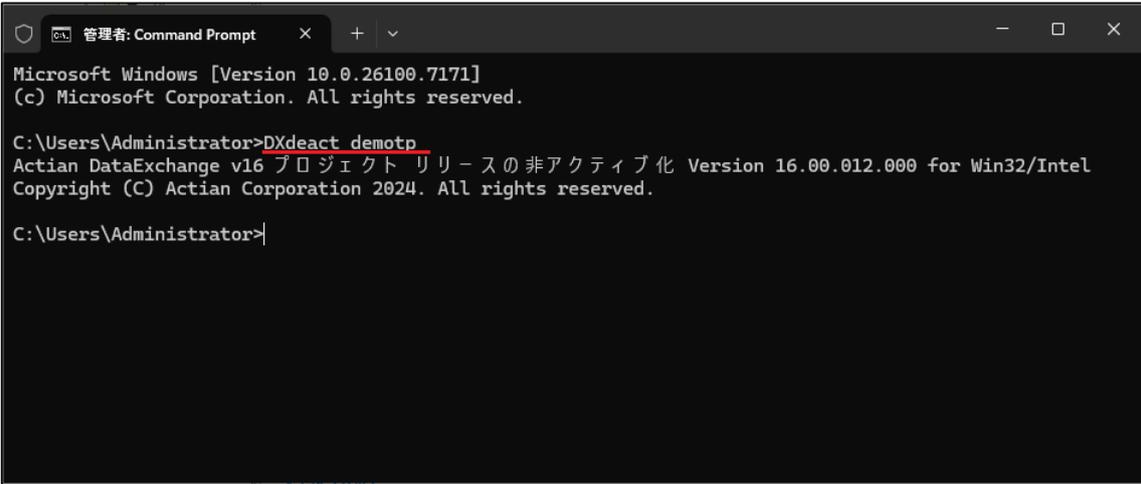
- a. 第1サイトのマシンでコマンド プロンプト (cmd) を開きます。
- b. 「Dxdeact <DSN 名>」と入力し実行します。
※コマンド文字列では大文字小文字は区別されません。
これで第1サイトのレプリケーション設定は非アクティブ化されます。

パートナーサイト:

- c. パートナーサイトのマシンでコマンド プロンプト (cmd) を開きます。
- d. 「DXdeact <DSN 名>」と入力し実行します。

実行結果の確認(第1サイト・パートナーサイト共通)

- コマンドプロンプトに下図のメッセージが表示され、エラーがなければ非アクティブ化は成功です。
- エラーがあった場合は非アクティブ化されていません。



```
管理者: Command Prompt
Microsoft Windows [Version 10.0.26100.7171]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Administrator>DXdeact demotp
Actian DataExchange v16 プロジェクト リリースの非アクティブ化 Version 16.00.012.000 for Win32/Intel
Copyright (C) Actian Corporation 2024. All rights reserved.

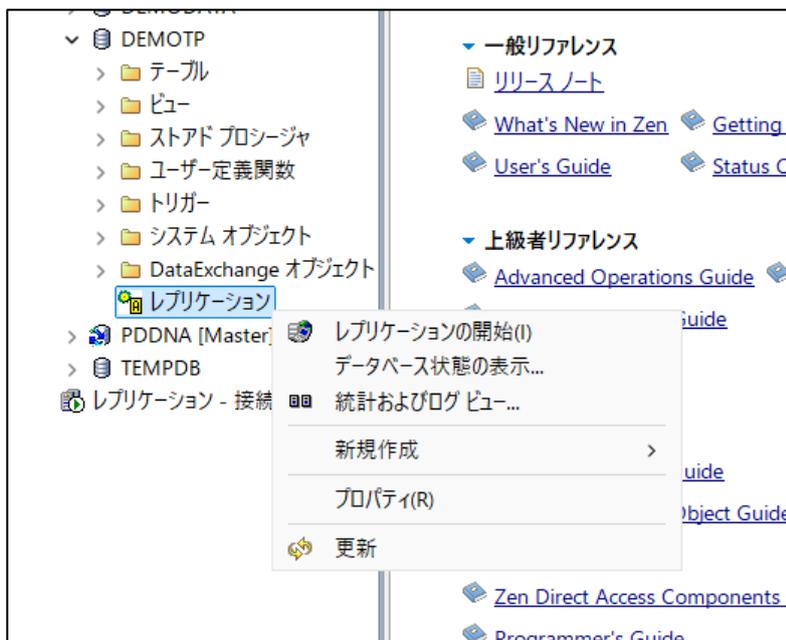
C:\Users\Administrator>
```

注意:

- 非アクティブ化は**第1サイト**と**パートナーサイト**の両方で必ず実行する必要があります。
- 上記手順で非アクティブ化が失敗した場合は、コマンドプロンプトを**管理者**として実行してください。

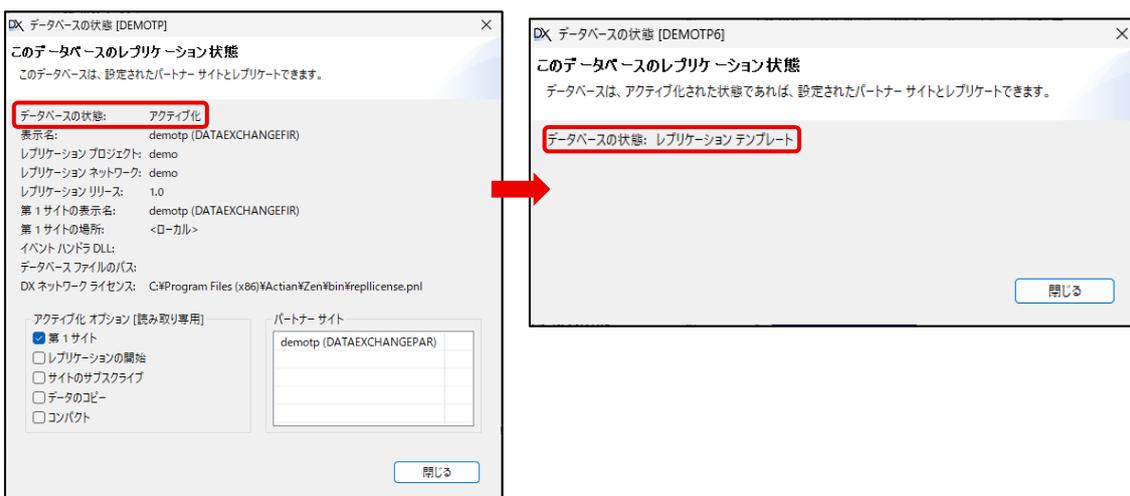
8-5. 非アクティブ化後の確認

Zen Control Center の左ペインのデータベース一覧から、非アクティブ化したい DSN
 (※前の手順で入力した DSN 名がそのままデータベース名として表示されます) を開いて、その下にある「レプリケーション」を右クリックします。



第1サイトの確認

※右クリックメニューの「データベース状態の表示」をクリックすると、表示されるデータベースの状態はアクティブ化からレプリケーションテンプレートに変化しました。

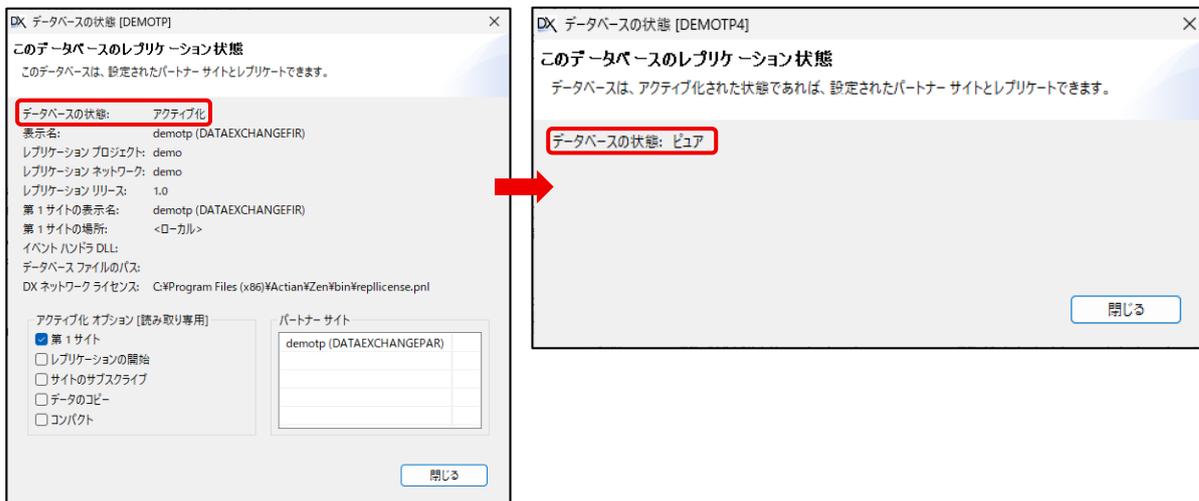


アクティブ化

非アクティブ化

パートナーサイトの確認

※右クリックメニューの「データベース状態の表示」をクリックすると、第1サイトと似ています。表示されるデータベース状態はアクティブ化からピュアに変化しました。



アクティブ化

非アクティブ化

表示されるメニューの確認

非アクティブ化済みの場合は、「レプリケーションの開始」と「統計およびログビュー…」がグレーアウト（選択不可）になっています。

この状態になっていれば、非アクティブ化は正しく適用されています。



アクティブ化

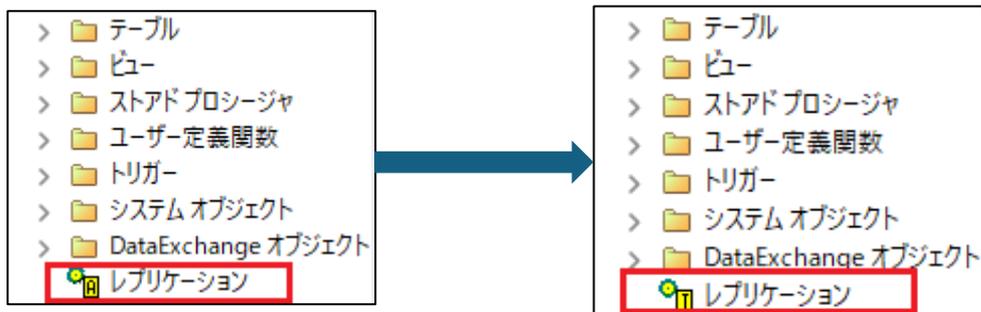


非アクティブ化

「レプリケーション」マークの確認

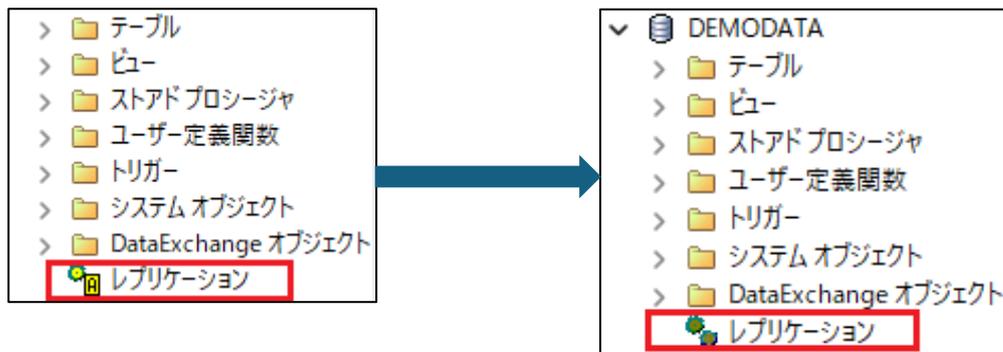
● 第1サイト

歯車マークの右下の文字 A は T に変化します。



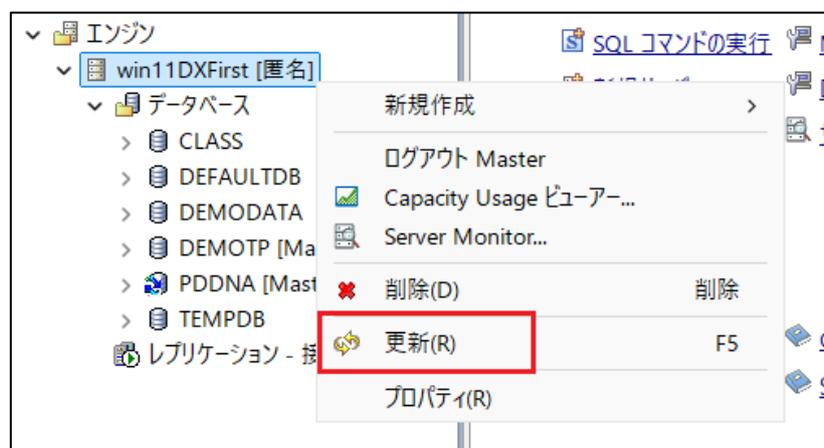
● パートナーサイト

緑の歯車マークは暗色になり、数も 2 つに変化します。



歯車マークが変化していない場合の確認

「エンジン」をクリックして展開されるデータベースサーバー（パソコン名で表示されています）を右クリックして「更新」を選択してください。



8-6. 第1サイトでTemplate Removerを実行

事前準備

1. Zen Control Center で DSN の右クリック メニューから開く [プロパティ] で、[ディレクトリ] の情報を見ると、辞書 (DX_<プロジェクト名>) が保存されているフォルダーが分かります。辞書のロケーションをメモしておきます。



2. Zen Control Center の左ペインで操作したいデータベースを右クリックし、表示されるメニューから「ログアウト Master」を選択してください。



以上で事前準備は完了しました。

注意:

- データベースをログアウトしないと次の「Template Remover」は実行できません。
- データベースを開いたりクリックしたりしないでください。クリックすると再びログイン状態になってしまいます。

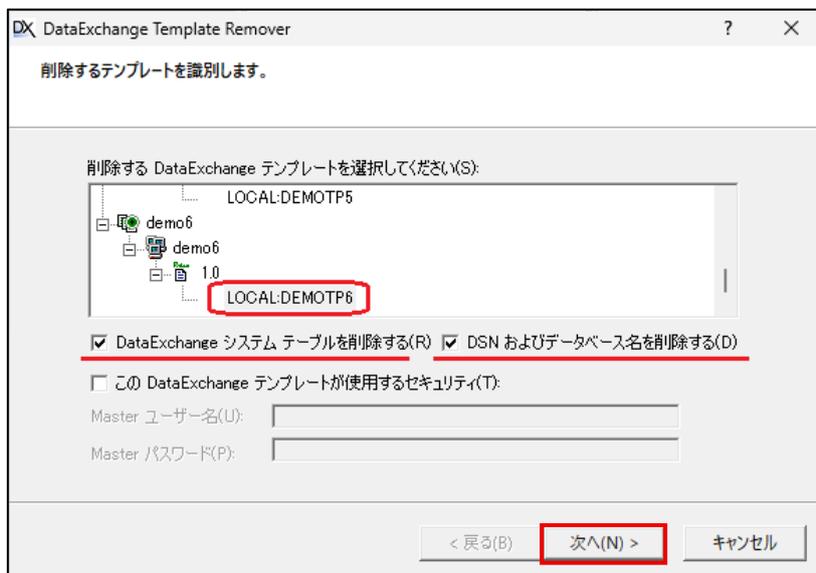
- a. Windows スタートメニューから [すべて>] → [Actian DataExchange 16] → [DX Template Remover] をクリックし、Template Remover を起動します。
- または、
Zen Control Center トップメニューから [DataExchange] → [Template Remover (R)] を選択します。



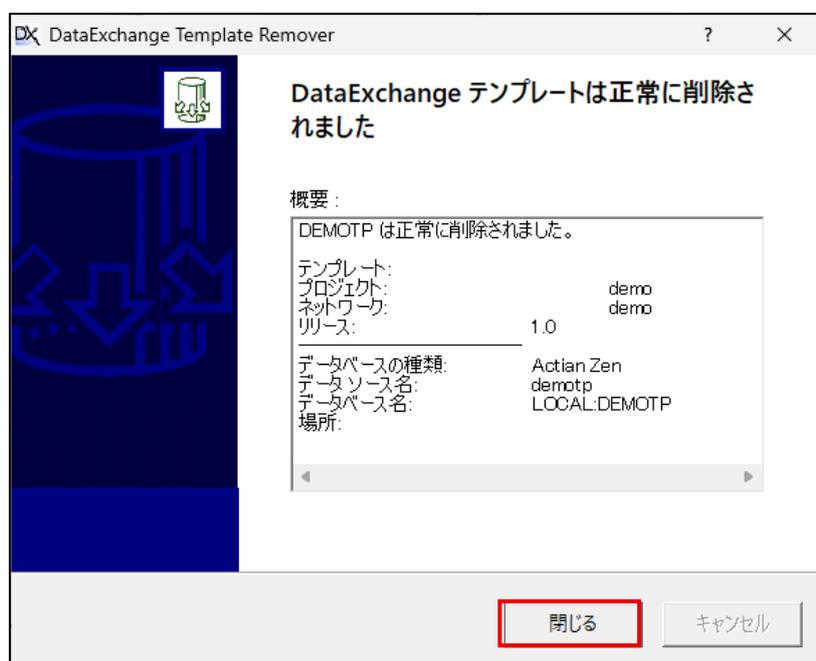
[次へ(N)>] をクリックします。



- b. 削除するテンプレートの選択で、「LOCAL:<DSN 名>」を選択します。
 [DataExchange システム テーブルを削除する] を選択し、削除を続行する警告メッセージが表示されたら [はい] をクリックします。
 [DSN およびデータベース名を削除する] を選択します。
 [次へ(N)>] をクリックします。



- c. テンプレートが削除され、概要が表示されます。[閉じる] をクリックします。



補足:テンプレートの削除後、Zen Control Centerの左ペインにある [データベース] あるいは [エンジン] の下にある <マシン名> を右クリックして [更新] を選択し、削除が確実に反映されているかどうかを確認してください。

- d. 第1サイトで、以下の手順に従いフォルダーとファイルを削除します。
1. 保存先フォルダー（DX_<プロジェクト名>）に移動します。
※保存先は「8-6. 第1サイトで Template Remover を実行」の「事前準備」で確認済みです。
 2. 手順 1. で確認した保存先フォルダー（DX_<プロジェクト名>）を手動で削除します。
 3. 第1サイト C:\Program Files (x86)\Actian\Zen\Replication\Templates の下にある <DSN 名> フォルダーを削除します（DSN 名=データベース名）。

削除中に「使用中のフォルダー」と表示されるダイアログが表示された場合は、以下の手順を実施してください：

1. 左ペインのサービス一覧で「Actian DX Replication」を右クリックする
2. 「サービスの停止」を選択してサービスを停止する
3. 再度フォルダーを削除する

注意: サービス停止後も保存先フォルダー（DX_<プロジェクト名>）を削除できない場合は、サービスを停止したまま、Zen Control Center をいったん終了した後、削除してください。



補足:

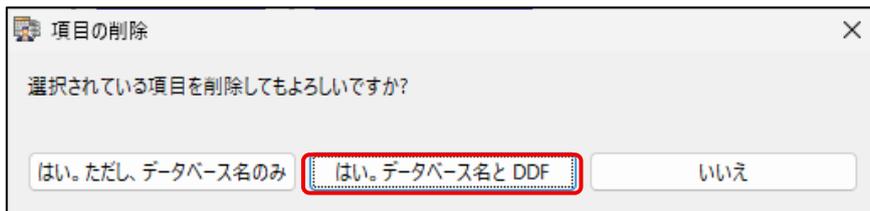
「辞書のロケーション」に保存されている DX_<プロジェクト名> フォルダーを削除すると、Btrieve ファイルが残ります。この Btrieve ファイルにはお客様のデータが含まれていますので、削除するかどうかはお客様にてご判断ください。

8-7. パートナーサイトで管理用データベースの削除

- a. Zen Control Center を起動します。
- b. データベース一覧の<DSN 名> (DSN 名=データベース名) を右クリックし、[削除(D)] を選択します。



- c. 削除を確認するダイアログが表示されたら、[はい。データベース名と DDF] をクリックします。



削除中に「7004:一般エラーコード」が表示され削除できない場合は、以下の手順を実施してください：

1. 左ペインのサービス一覧で「Actian DX Replication」を右クリックする
2. 「サービスの停止」を選択してサービスを停止する
3. 再度データベースを削除する



- d. パートナーサイトで管理用データベースのファイルを削除します。
1. レプリケーションされたフォルダーやファイルは自動的に削除されないため、エクスプローラーから手動で削除します。
「事前準備」でメモしておいた「辞書のロケーション」（削除対象フォルダーのパス）をエクスプローラーで開き、手動で削除を行ってください。
 2. 上記のパスを開くと DX_<プロジェクト名> というフォルダーがありますので、そのフォルダーを削除してください。

補足:

「辞書のロケーション」に保存されている DX_<プロジェクト名>フォルダーを削除すると、Btrieve ファイルが残ります。この Btrieve ファイルにはお客様のデータが含まれていますので、削除するかどうかはお客様にてご判断ください。

9. 設定したレプリケーションの変更

レプリケーションの設定（レプリケーションするファイル）を変更する場合、一旦設定しているレプリケーションをクリアし、再設定が必要となります。

設定しているレプリケーションのクリアは、「[8.設定したレプリケーションのクリア](#)」の手順で行ってください。

10. Zen 関連のサービス開始・停止手順

Actian Zen および DataExchange はサービスの依存があるため、開始および停止の際には、順番を考慮しないと、エラーダイアログが表示されることがあります。

サービス関連のサービスを開始あるいは停止する場合、次の手順で行います。

10-1. サービスの開始

サービスの開始は次の順序で行います。

- a. Actian Zen (Enterprise/Cloud) Server サービスを開始します。
- b. Actian DX Replication サービスを開始します。
- c. Actian DX Agent サービスを開始します。

10-2. サービスの停止

サービスの停止は次の順序で行います。

- a. Actian DX Agent サービスを停止します。
- b. Actian DX Replication サービスを停止します。
- c. Actian Zen (Enterprise/Cloud) Server サービスを停止します。



株式会社エージーテック

本 社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-17-5 Daiwa 神田橋ビル 6F

PHONE:03-3293-5300 (代表) FAX:03-3293-5270

URL <https://www.agtech.co.jp>